

世界中がバッハの音楽に包まれる



Bach in the Subways Day

ハッピー
バースデー
バッハ

祝・生誕335年

～in八ヶ岳～

リードオルガン美術館

2020年3月21日(土) 開場 13:30 開演 14:00

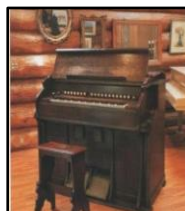
八ヶ岳リードオルガン美術館 入場無料 定員40名 (◎15台)

Yatsugatake Reed Organ & Harmonium Museum

山梨県北杜市長坂町小荒間 1572-41 (JR小海線「甲斐小泉」駅より徒歩15分)



Program: トッカータとフーガニ短調 BWV565
無伴奏チェロ組曲第1番ト長調 BWV1007 より
カンタータ第189番《わが魂は頌め讃う》より。
カンタータ第78番「イエスよ、汝はわが魂を」より
カンタータ第208番「楽しき狩りこそわが悦び」より
「羊は憩いて草を食み」グノー「アヴェ・マリア」他



ミュステル社
ハルモニウム

※お電話ください(要予約)



原 規之
ハルモニウム



上野目美穂里
ソプラノ



竜沢経一
テノール



下川れいこ
オルガン



安居陽子
チェロ



河津菊枝
指笛



西辻善則
アコーディオン

原規之 Hara Noriyuki ハルモニウム

1950年(昭和25年)から東京チャペルセンターで中田羽後氏にメサイアをはじめとする宗教音楽を学ぶ。新宿区コールクロッカス合唱団指揮者(昭和28年～38年)東京声専卒(現昭和音楽大学)。吹奏楽やコーラスの指導に携わる。日本海洋少年団音楽長に就任し重責を果たした(平成2年～4年)。グリーンフィールド合唱団では合唱指導に携わる(～平成11年)。「クリスマス・メサイア・コンサート」では合唱団を結成しオーケストラ伴奏による演奏の指導を行った。近年、Dennis L.Foster 作曲のオラトリオ初演や浄書を行う。日本リードオルガン協会会員、八ヶ岳リードオルガン美術館専属オルガニスト。

※プログラムは変更になる場合がございます。※担当スタッフが撮影を行いますのでご協力をお願いいたします。

後援 日本リードオルガン協会 八ヶ岳ミュージアム協議会 FM八ヶ岳

主催 バッハ・イン・ザ・サブウェイズ 2020 八ヶ岳 TEL 080-5532-2126 FAX 0551-32-3118

<http://bachinthesubways.org/?lang=ja> [Facebook] <https://facebook.com/BachInTheSubwaysJapan/>

実行委員会 http://nishikunn.net/nishikunn_wp/ メール bach.it.subways.j.k@gmail.com

バッハ・イン・ザ・サブウェイズ ストーリー

2010年、チェロ奏者 デール・ヘンダーソンが「だれでもクラシック音楽に親しむことができる」とニューヨークの地下鉄の駅構内でバッハの無伴奏チェロ組曲を演奏します。その勇気と瑞々しさに、多くの人が感動しました。このムーブメントはCNNなどで取り上げられ、反響が各地にひろがります。2015年、日本に初上陸、世界40カ国140都市以上で開催。そして2019年、2020年八ヶ岳で開催。生活のなかに音楽が自然と溢れることを Bach in the Subways は願っています。

「八ヶ岳リードオルガン美術館」森の中の美しいアンティーク
リードオルガン ハルモニウム パイプオルガンの世界がここに。

上野日美穂里 Kaminome Mihori ソプラノ

幼少より坂本博士主宰 Sakamoto Music School にて声楽・ピアノを学ぶ。また、サカモト児童合唱団卒。洗足学園大学付属中学・高校・大学音楽学部ピアノ科卒。東京の小学校音楽専科として音楽教育に携わる傍ら、東京芸術大学科目履修生として、声楽等を学ぶ。07年より八ヶ岳リードオルガン美術館主催の数々のコンサートにソプラノソリストとして出演。同美術館専属ソプラノ歌手、森田克子（声楽）、北川正（ピアノ）、佐竹由美（声楽）、山下牧子（声楽）、菅英三子（声楽）、徳岡めぐみ（オルガン）、鈴木雅雄（常盤津三味線）の各師に師事。CD八ヶ岳で生まれた賛美歌。

竜沢経一 Tatsuzawa kyoichi テノール

山梨県出身、落合節子、小川雄二、水上尚子、C.Gaifa、C.Bosco、に師事。国立音楽大学声楽家卒業後、イタリアに渡る。2004年以降、ミラノカトリック日本人教会、ミラノドゥオーモ・カペラニア日本人会、等の音楽を担当しながら、合唱、オペラ、等に多数参加。2016年～2019年「Il Dolce Canto in やまなし」を企画。世界的歌手、バリトン：アンドレア・ゼーゼ、ラルフ・ルーカス、テノール：パオロ・ラルディツィオネ、と共演。現在、イタリア・ミラノヴェルディオオーケストラ合唱団に所属しながら、オペラ、コンサート等に出演中。

下川れいこ Shimokawa Reiko オルガン

英国王立音大ピアノ科音楽学士(B.Mus)、カナダヴィクトリア大学音楽修士(M.Mus)等で研鑽。チェンバロを Doreen Oke、古宮修治、野澤知子、渡邊順生、平井み帆、中川岳、オルガンを山口綾規、中澤未帆の諸氏に師事。チェンバリスト岩田耕作氏による古楽セミナーを企画。ベートーヴェン皇帝室内楽版CD「古楽アンサンブルとモダンピアノの響演」全国発売中。2020年6月ライブツィヒ・バッハ音楽祭「やわらかなバッハの会」参加。www.reikopiano.com

安居陽子 Yasui Youko チェロ

幼少期にヴァイオリンを習う。20年前にチェロを始め、夫の赴任先のロンドンと神戸でアマチュアオーケストラに所属。2019年、八ヶ岳音楽祭に参加。

河津菊枝 Kawadu Kikue 指笛

40代半ばに声帯ポリープの除去施術を受け、腹式呼吸で演奏する指笛音楽に出会う。創始者の田村大三先生に教えを乞い、早や26年。先生は秋田の小学校の体育の授業で先生が吹く「ピー音」の合図を音楽にできないかと考え発案。その後、神田の街角でストリートパフォーマンスとして演奏活動を開始し、国内のメディアに多数出演した後、米国のカーネギーホール等にも招待され演奏。先生は生涯指笛音の普及に尽力され、全国に50人以上の弟子を残された。私も先生の唱える“心の叫び”を少しでも多くの方に知ってもらい感動して頂ける演奏を目指し精進しております。

西辻善則 Nishitsuji Yoshinori アコーディオン

8歳からピアノを山本博子氏に師事。ヴァイオリンを戸澤哲夫氏に師事。合唱を高浪晋一氏に指導を受ける。1997年、ポーランドワルシャワショパン協会サロンコンサートで演奏。2004年、アコーディオンを吉田親家氏に師事。2005年、JAA国際アコーディオンコンクール「シャコンヌ」第3位入賞。2007年、プラハ国際アコーディオンフェスタゲスト。2010年、なにわシャンソンコンクール審査員。2013年よりFMはしもとパーソナリティ「リラ・クラシック」(土7:00)担当。2015年よりBach in the Subways Japanオーガナイザー。日本アコーディオン協会(JAA)理事。ピアノ調律師。2020年6月、ライブツィヒ・バッハ音楽祭で演奏予定。



ファウンダー
デール・ヘンダーソン

バッハ・イン・ザ・サブウェイズ 2020 実行委員会
(The Tone Cove) ライブツィヒ・バッハ音楽祭で演奏
<http://www.tone-cove.life/>

B ach in the Subways

QR コード

